

# 小麦に 待望の登録!!

信頼の総合殺菌剤!!

**オンサイド**<sup>®</sup>  
水和剤80

赤かび病(ニバーレ菌)  
収穫時の黒変病対策に!



赤かび病



黒変病

## 特長

- ◆ 赤かび病 (特にニバーレ菌による)に開花初期の防除で優れた効果を発揮します。
- ◆ 開花初期に散布することによって、ニバーレ菌による葉枯症状の防除効果も高めることができます。
- ◆ 収穫時のいわゆる黒かび (黒変病)の防除にもお使いいただけます。
- ◆ 病原菌に対する作用点が多岐にわたるので、耐性菌管理に有効です。
- ◆ 有効成分が植物表面に留まり、菌の侵入を防ぎます。

## 適用病害と使用方法 (抜粋)

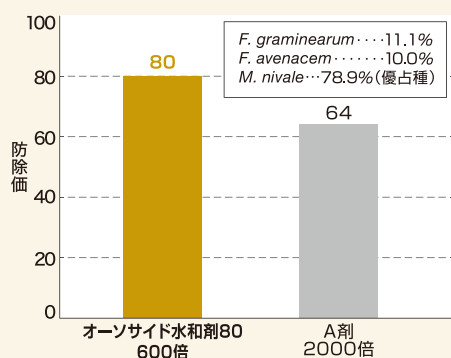
本資料は、2018年7月現在の登録内容に基づき作成しています。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (10a当り)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	キャプタンを含む農薬の総使用回数
小麦	赤かび病	600~1000	60~150ℓ /10a	収穫14日前まで	4回以内	散布	4回以内
	黒変病	1000					

## 試験成績

### 小麦赤かび病 (ニバーレ菌優占)

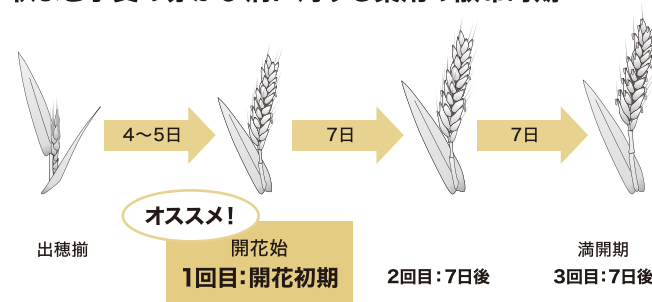
十勝農試 2006年



ニバーレ優占時における赤かび病に対する防除効果

【品種】ハルユタカ  
 【播種日】2006年4月27日  
 【散布月日】2006年7月5日 (開花始)、7月13日、7月19日  
 【調査月日】2006年8月6日

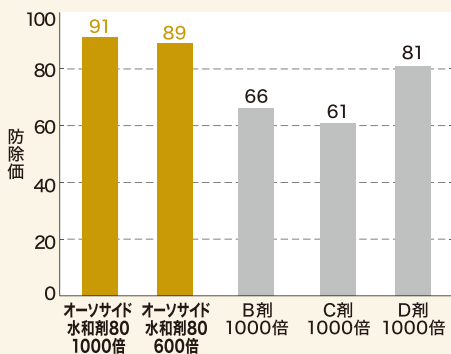
### 秋まき小麦の赤かび病に対する薬剤の散布時期



オーソサイド水和剤80は開花初期の使用がお勧めです。  
 フザリウム菌による赤かび病及びDON汚染低減には、それらに効果の高い剤との併用でお使いください。

### ニバーレ菌による小麦葉枯症状 (参考)

十勝農試 2015年

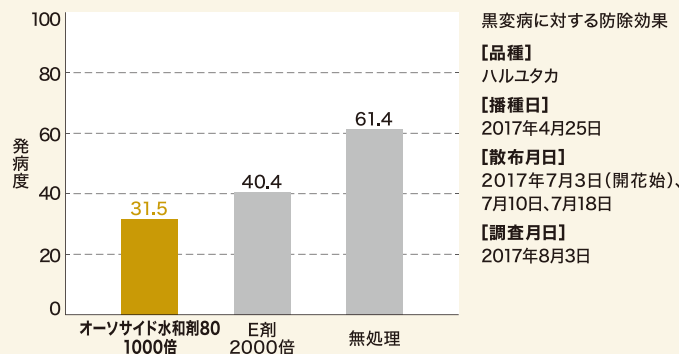


ニバーレ菌による葉枯症状に対する試験事例

【品種】きたほなみ  
 【播種日】2014年9月22日  
 【散布月日】2015年6月5日 (開花始)、6月12日  
 【調査月日】2015年7月6日

### 小麦黒変病

北植防 2017年



黒変病に対する防除効果

【品種】ハルユタカ  
 【播種日】2017年4月25日  
 【散布月日】2017年7月3日 (開花始)、7月10日、7月18日  
 【調査月日】2017年8月3日

### 農薬適正使用運動

- 1.使用前にラベルや説明書をよく読んでください。
- 2.マスク・手袋など防護服を着用してください。
- 3.圃場の外に飛散・流出しないよう注意してください。
- 4.空袋は正しく処分してください。
- 5.食品と区別し、カギをかけて保管してください。
- 6.防除日誌を記載しましょう。

- 1.使用前にはラベルをよく読んでください。
- 2.ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 3.本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

アリスタライフサイエンス株式会社

〒104-6591 東京都中央区明石町8-1  
 TEL 03-3547-4416 FAX 03-3547-4695  
<http://www.arystalifescience.jp/>



最新の登録内容